

**製品名: EDG1 (2B18) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe10294**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.25mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500
分子量	43kDa

**抗原情報**

遺伝子名	S1PR1
別名	S1P receptor 1; S1P1; Endothelial differentiation G-protein coupled receptor 1; Sphingosine 1-phosphate receptor Edg-1; S1P receptor Edg-1; CD363; S1PR1; CHEDG1; EDG1;
遺伝子 ID	1901.0
SwissProt ID	P21453
免疫原	ヒト S1P1/EDG1 の合成ペプチド

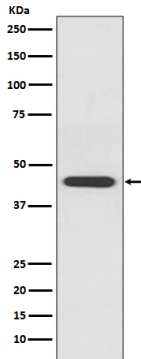
## 背景

リゾスフィンゴ脂質スフィンゴシン 1-リン酸 (S1P) の受容体。S1P は、ほとんどの種類の細胞や組織に多様な生理学的効果をもたらす生理活性リゾリン脂質です。この誘導性上皮細胞 G タンパク質共役受容体は、内皮細胞の分化を制御するプロセスに関与している可能性があります。生理活性リゾスフィンゴ脂質スフィンゴシン 1-リン酸 (S1P) の G タンパク質共役受容体は、ヘテロ多量体 G タンパク質の G(i)サブクラスに共役していると考えられます。シグナル伝達により、RAC1、SRC、PTK2/FAK1、および MAP キナーゼが活性化されます。細胞遊走において重要な役割を果たしており、おそらく、スフィンゴシンキナーゼ SPHK1 の活性を上昇させる刺激に反応して、アクチン細胞骨格の再編成とラメリポディアの形成に関与していると考えられます。スフィンゴシン 1-リン酸への正常な走化性に必要。正常な胎児心臓の発達および正常な心臓形態形成に必要。血管新生の萌芽および血管成熟の調節に重要な役割を果たす。血管発達中の過剰な萌芽を防ぐために血管新生の萌芽を阻害する。成熟 T 細胞が胸腺から血流および末梢リンパ器官に正常に排出されるために必要。破骨細胞前駆細胞の移動、骨の石灰化および骨の恒常性の調節に役割を果たす (相同性による)。肺内皮細胞による酸化 1-パルミトイル-2-アラキドノイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリンへの反応および人工呼吸器誘発性肺障害に対する防御に役割を果たす。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の EDG1 発現のウェスタン プロット分析。